

奈良県のさかな

大和の自然が育む奈良県の代表的な魚たち

きんぎょ



特徴

- ・大和郡山市を中心に全国有数の金魚の産地として知られる
- ・和金を中心に、出目金、コメット、オランダシシガシラ、琉金など多様な品種が養殖されている
- ・全国金魚すくい選手権大会や金魚品評会が開催され、地域の文化として親しまれている

主な数値

- ・販売数量 4,490万尾 (R7) ※メダカを含む
- ・販売金額 9.5億円 (R7)

主な産地

- ・大和郡山市

あゆ



特徴

- ・スイカのような独特な良い香りがすることから「香魚」とも呼ばれる
- ・県内の清流が育んだコケを食べて育つアユは特に味が良いと言われている
- ・ナワバリに侵入してきた他のアユを追い払う習性を利用した『友釣り』が人気で、解禁されると県内外から多くの釣り人が訪れる

主な数値

- ・放流量 13トン (R7)
- ・漁獲量 45トン (R7)

主な産地

- ・河川漁業（釣り） 新宮川水系、紀の川水系、淀川水系

あまご



特徴

- ・パーマークと呼ばれる小斑状の模様と小さな朱点が美しい魚
- ・川の上流域に生息していて、溪流釣りの対象魚として人気
- ・山間部のきれいで冷たい水を利用して養殖が行われている
- ・奈良県の養殖魚（食用）の約9割を占める

主な数値

- | | |
|--------|-----------|
| ・養殖生産量 | 集計中 (R7) |
| ・放流量 | 9トン (R7) |
| ・漁獲量 | 28トン (R7) |

主な産地

- ・養殖業：吉野郡、宇陀郡
- ・河川漁業（釣り）：新宮川水系、紀の川水系、淀川水系

出典まとめ

きんぎょ：販売数量、販売金額＝県調べ | あゆ：放流量、漁獲量＝県調べ | あまご：養殖生産量＝農林水産統計

放流量、漁獲量＝県調べ

※（R○）は調査年次